

山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質疑事項	No	回答
1	特A-01	石綿含有の事前調査は無しと考えるて宜しいでしょうか。	1	宜しいです。
2	A-37	厨房床改修詳細図にステンレス目地棒6mmと記載がありますが数量書には記載がありません。どちらを正と考えれば宜しいでしょうか。	2	図面を正とします(ステンレス目地棒6mmあり)。
3	A-19 A-37	上記ステンレス目地棒を取付ける場合、取付数量は軽量コンクリート取合い部分全てとの考えででしょうか。	3	Y4通り、X16-X17間の取合い部分のみとします。
4	A-15、16 A-23、24	体育館平面詳細図・展開図にて各所に下地調整・塗装塗替えと記載されていますが、既存塗装がOP及びOSViにWP-Cに塗替えは不可能と思われる。平面詳細図にはW1の記号となっていますので仕上材のみ撤去・張替えとなるのでしょうか。(木枠・三方枠共)確認をお願いします。	4	木部の下地調整部分においてはRB種で、既存塗膜の除去→汚れ、付着物除去→研磨紙ずりを見込んでいます。下地調整の上、WP-Cに塗替えとしてください。平面詳細図W-1部は仕上材のみ撤去・張替えです。木枠・三方枠は下地調整の上WP-Cとします。
5	A-05、06	床仕上材撤去後、10mmセルフレベルングを打設する仕様となっております。現状床レベルより上がると思われますが、建具敷居等に影響はないと考えて宜しいでしょうか。(改修後平面図ではFL±0となっております。)	5	最大10mmとします。I期工事で不陸がかなりあったため、建具敷居などに影響がない範囲での調整分と考えて下さい。
6	数量書14、15	壁合板の仕様は、掲示クロス面はラワン合板、塗装面(有孔共)はシナ合板、有孔合板は裏に寒冷紗付と考えて宜しいでしょうか。	6	宜しいです。
7	数量書8、9、10	建具カバー工法及び水切り新設部のシーリング処理が計上されていません。建具工事に含むと考えて宜しいでしょうか。	7	宜しいです。
8	A-23 A-25	体育館既存合板仕上撤去部は、接着剤が使用されていると下地を残すことが困難となりますが、接着剤は使用されていないと考えて宜しいでしょうか。	8	釘打ちは確認済みですが、接着剤の使用は確認できません。下地を残すことが困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。
9	A-35	WD-10及びWD-14に沓摺、レールの記載がありません。SUS沓摺、SUSレールの仕様で考えて宜しいでしょうか。	9	宜しいです。
10	A-02	仕上表にて体育館、ギャラリーにカーテンレール新設とありますが数量書には記載がありません。どちらを正としますか。	10	仕上表を正とします(カーテンレールあり)。
11		カーテンレールを新設する場合、どのような仕様になりますか。又新設カーテンBOX内のカーテンレールは別途と考えて宜しいでしょうか。	11	仕様はC型シングルカーテンレールのステンレス製とする。カーテンBOX内のカーテンレールは不要です。
12	A-18、19 数量書14 明細内訳3	厨房土間は周囲300mm残しで全て撤去と考えて宜しいでしょうか。撤去の場合、数量書の数量が4.8kgと極端に少ないのですが確認をお願いします。	12	周囲300mm部分も鉄筋ハツリ出しのため、土間は撤去となります。設計数量208kg、所要数量216kgに変更します。
13	数量書17 明細内訳8	溝躯体の鉄筋数量に相違があります。確認をお願いします。	13	設計数量106kg、所要数量111kgに変更します。
14			14	
15			15	